

SAJ 活動Pickup

2024年1月～6月

本資料では、2024年1月から2024年6月までの
主な活動をpickupしてご紹介します。

委員会・研究会活動等のなかで、企画・実施したもの、
調査・研究を行ったものなどを中心に、
事務局の各担当がとりまとめを行い掲載しております。

なお、委員会・研究会活動の経過内容等については割愛していますが、
ご興味・ご関心を持たれた活動がございましたら、ぜひご参画ください。

1	ロゴについて	4
2	オウンドメディア	5
3	SAJ1階会員スペース	6
4	政策提言・意見交換・表敬訪問	7
5	視察ツアー	14
6	イベント	16
7	ビジネスマッチング	27
8	情報提供セミナー	31
9	ニュースリリース	52
10	実施事業	56
11	告知・報告書・ご案内	59



SAJのロゴで使用されている3色は、SDGsのアイコンから、SAJの活動方針と親和性が高い「9. 産業と技術革新の基盤をつくろう」のオレンジと、「17. パートナリーシップで目標を達成しよう」のネイビーブルーを組み合わせ、さらに日本国旗の赤をモチーフとしました。



SAJ活動を協会内外にしっかりと広報し、SAJのプレゼンスを高めていくため、各委員会・研究会専用のFacebookページを開設し、それぞれがいつでも活動告知・報告を紹介可能となるとともに、投稿記事が自動転載されるオウンドメディアを開設しました。オウンドメディアに集まった情報を確認することで、各委員会や研究会のリアルな活動内容・雰囲気を感じることができるようになりました。

令和5年3月、ソフトウェア協会事務局の1階に、会員サービスの一環としてデジタルサイネージやセミナースペース、ワークスペースを新設しました。ぜひご活用・お問合せください。



●デジタルサイネージ

入口横に設置されたデジタルサイネージに、会員企業様のプロモーションビデオ等、ご希望のコンテンツを配信いただけます。



●コワーキングスペース

ご自由に無料でご利用いただける会員向けコワーキングスペースです。

Wifiと電源を備えた落ち着いた雰囲気のカウンターで、隙間時間のメールチェック等にご利用いただけます。

【利用可能時間】9:30~17:30(平日のみ)

【費用】無料



●セミナールーム

セミナーや会議等にご利用いただけるエリアです。

ご利用は、協会営業日(土・日・祝日、年末年始休暇、協会設立記念日を除く)に限り、協会委員会等の開催日以外となります。

2024年1月10日(水)

独立行政法人情報処理推進機構(IPA)と医療セキュリティ、SBOMに関する意見交換会を実施

Software ISAC、独立行政法人情報処理推進機構(IPA)の双方における医療分野へのセキュリティの取り組みや、連携等についてや、SBOMの検討すべき課題等について意見交換。医療セキュリティについては、今後も継続的に意見交換し連携していくこと、SBOMについては、SBOMにおける課題を整理し取り組むテーマと推進体制を含めた計画づくりが必要であるという認識合わせを行った。

※SBOM:Software Bill of Materials ソフトウェア部品表

2024年1月17日(水)

ソフトウェア協会として政策要望をとりまとめました

政策委員会にて、寄せられた要望項目内容の精査・検討を行い、とりまとめた政策要望を日本IT団体連盟および関係省庁へ提出した。要望項目一覧は以下の通り。

要望項目一覧

1. 全国統一教育プラットフォームの構築
2. マイナンバーを利用したIT基盤の構築
3. ISMAP-LIUにおける制度見直しについて
4. 経済安全保障及びグローバルにおける競争力低下を防ぐためのソフトウェア管理の推進
5. デジタル化促進を阻害する規制・ガイドラインの変更
6. ソフトウェア製品・サービスのJIS認証推進
7. 個人情報保護法 規制緩和のお願い
8. 年末調整業務のデジタル化推進
9. デジタルインボイスや電子帳簿保存の普及活動
10. GビズIDアカウント作成のデジタル完結化
11. GビズIDの民間サービス連携の推進
12. デジタル完結のための特定創業支援等事業支援
証明書の電子交付
13. 中央省庁におけるクラウド型電子契約の利用推進
14. 租税条約第12条の技術上の役務に対する源泉税の撤廃
15. 政治資金規正法のデジタル化

2024年2月5日(月)

平井卓也初代デジタル大臣へ訪問

2024年2月5日(月)、地域デジタル推進委員会 委員長 豊田崇克は、昨年に全国各地で行った地域のデジタル化推進活動をまとめた”2023年度 地域デジタル推進委員会 活動報告書”(50部)を、衆議院議員/初代デジタル大臣 平井卓也先生へお渡しした。



2024年2月6日(火)

経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課へ訪問

地域デジタル推進委員会 委員長 豊田崇克は、昨年に全国各地で行った地域のデジタル化推進活動をまとめた”2023年度地域デジタル推進委員会 活動報告書”(10部)を、経産省 商務情報政策局 情報技術利用促進課 安藤課長補佐へお渡しした。

安藤課長補佐とは、地域の課題やSAJの今後の取り組みなど意見交換し、今後も密に連携していただけることとなった。



2024年2月7日(水)

財務省主税局税制第一課と国税庁長官官房デジタル化・業務改革室との意見交換及び関連会員等へのヒアリングを実施

財務省・国税庁において、納税者(事業者)のバックオフィス業務の負担軽減と税務コンプライアンス水準の向上を実現する観点から、OECD等の国際的な議論も踏まえ、「受発注等の取引に係るやり取りから会計・税務までデジタルデータで処理を行う」との方向性を目指すこととして検討を行うにあたり、当協会会員企業のプロダクトの実態を把握しながら検討を深めていきたいとのことで、会員数社へのヒアリング協力依頼をおこなった。

2024年5月31日(金)

自由民主党 政務調査会デジタル社会推進本部と「ISMAP制度の現状と課題」に関する意見交換を実施

自由民主党が、デジタル社会推進にむけた施策について議論を行うにあたり、当協会へも意見交換の打診があり、別所副会長/政策委員長、鈴木筆頭副会長より、ISMAPにおける制度見直しや実務から見た課題などについて説明し、意見交換を実施した。

2024年2月26日(月)

前近畿経済産業局長へ訪問

前近畿経済産業局長の三浦章豪様が公益社団法人 2025年日本国際博覧会協会総合戦略室長に転出されたので、豊田副会長、富田理事、原常務理事・事務局長でご挨拶のため訪問した。



2024年3月23日(金)

沖縄総合事務局経済産業部を訪問

当日は豊田委員長(副会長)はじめ富田副委員長(理事)、武井副委員長(理事)と沖縄地区担当の中尾主査、玄番主査、原SAJ常務理事・事務局長で中村経済産業部長、高橋政策課長、仲西情報政策専門官に昨年の活動を報告。

引き続き、次年度以降沖縄でセミナー等を行っていく際には支援をお願いし、沖縄では今後リゾートとITを中心にリゾートテックを推進していくとのことで、SAJでもできる限り協力をしていくことを確認した。



2024年4月1日(月)

台湾CISA沈柏延理事長を訪問

SAJ副会長の豊田崇克は、台湾CISA沈柏延理事長を訪問しました。会合の後に会食を行いお互いの友好関係を構築した。台湾CISAは、今年7月に名古屋と大阪の企業の訪問を予定。20名から30名規模の訪問団を結成する予定とのこと。



2024年4月19日(金)

経済産業省 東北経済産業局訪問

地域デジタル推進委員会 東北担当理事 飯島邦夫は、昨年に全国各地で行った地域のデジタル化推進活動をまとめた”2023年度地域デジタル推進委員会 活動報告書”(10部)を、経産省 東北経済産業局 地域経済部 製造産業課 千葉課長と井元情報政策室長へお渡しした。



タイトル SAJ×APICTA双方の活動を紹介し情報共有

開催日 2024年4月15日(月)

会場 SAJ1階セミナールーム

参加 吉田理事(国際委員会副委員長)
原常務理事・事務局長
APICTA(Asia Pacific ICT Alliance)会長
Fulvio Inserra氏

概要 APICTA(Asia Pacific ICT Alliance)会長のFulvio Inserra氏がSAJを訪れ、双方の活動紹介を実施。SAJからは吉田理事./国際委員会副委員長と原常務理事が対応、最後に記念品を贈呈。APICTAは、アジア16か国が加盟し、年に1回、ICTソリューションの開発を奨励するアワードを開催している。

<https://apicta.org/>



タイトル 若手実務者親睦イベント 第5回会員企業視察@株式会社ウェザーニューズ

開催日 2024年3月19日(火)

会場 株式会社ウェザーニューズ

参加 14社25名

テーマ 地球の未来・気候変動を考えよう

- 概略**
1. 株式会社ウェザーニューズ様挨拶
 2. 1)インタラクティブ地球儀を活用した最新の気候変動状況
2)気候変動に対する企業の取り組み紹介
3)天気予報ができるまで(オフィス見学)
 3. 懇親会@株式会社ウェザーニューズ様

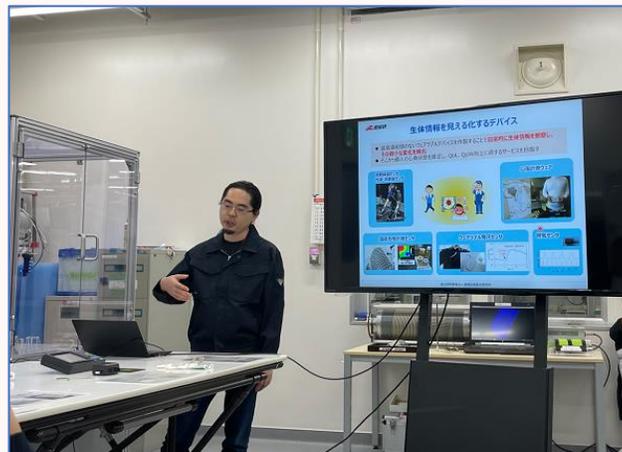


タイトル 視察レポート:産業技術総合研究所(柏センター)

開催日 2024年4月18日(木)

参加 7社・団体/10名

概略 新技術の動向調査のため、産業技術総合研究所 柏センターの視察を実施。当該センターで研究している主テーマは「人間拡張」(人に寄り添い人の能力を高めるシステム)であり、事前に委員より視察希望の研究チームを募集し、3つの研究チームを中心に視察した。



イベント【令和6年新年賀詞交歓会】

タイトル 令和6年新年賀詞交歓会

開催日 2024年1月17日(水)

会場 帝国ホテル『孔雀の間』

参加 650名

概略 会長挨拶では、新年に能登半島沖地震で被災した方々に向け哀悼の意が述べられ、650名もの方にご参加頂き、盛会の内に幕を閉じた。



タイトル Software ISACがJNSA特別賞を受賞

受賞日 2024年2月2日(金)

会場 ベルサール半蔵門
(「2024年JNSA新年賀詞交歓会」にて)

概略 特定非営利活動法人 日本ネットワークセキュリティ協会(JNSA)が、情報セキュリティ向上のための活動を積極的に行い、広く社会に貢献した個人、団体、JNSAワーキンググループを対象に表彰する制度において、「ランサムウェア被害の実態を世間に広く周知し、対策の重要性認知度を向上させる活動」が認められ、Software ISACが特別賞を受賞した。



タイトル 第3回SAJ親睦ボウリング大会

開催日 2024年2月20日(火)

会場 東京ポートボウル

参加 31社60名

概略 60名と多くの皆様にご参加いただき、皆様ボウリングを楽しみつつ、ビジネスやプライベートの話などで親睦を深めていた。ゲーム後は、交流委員会メンバーの進行により、懇親会とあわせて表彰式が行われた。各賞の賞品には、会員企業様ご提供の賞品が授与され、大いに盛り上がった。



タイトル SAJ会員の女性経営者層交流イベント「SAJ女性交流会～SAJの活動をより楽しむために～」

開催日 2024年2月22日(木)

会場 株式会社フォーラムエイト

参加 20社25名

概略 「SAJの活動をより楽しむためには？」をテーマに、女性理事によるパネルディスカッションや、SAJでどのような活動を行いたいのか、参加者の皆様で意見交換を行った。終了後は、会場近くにて懇親会が行われ、懇談、名刺交換・情報交換などが活発に行われた。



タイトル 新春を祝う会

開催日 2024年2月26日(月)

会場 赤坂 LAYOUT

参加 30名

概略 プロジェクトみらいの新年会を兼ねた「新春を祝う会」を開催。若手経営層を中心に30名が参加し、初参加メンバーの自己紹介や近況報告などをおこなった。また、プロジェクトみらいのメンバーからついに経営者になられた方も出てきたとの報告もあり、大いに盛り上がった。



タイトル SAJの活動を知ろう・利用しよう～2024年度活動方針・2023年度研究会成果報告会～

開催日 2024年4月17日(水)

会場 山王健保会館

参加 51社64名

概略 【開会ご挨拶】

鈴木 正之 氏(SAJ筆頭副会長・株式会社ピーエスシー 代表取締役)

【特別講演】

タイトル「DX推進・デジタル人材育成の政策動向(仮)」

講演者:安藤 尚貴 氏(経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課 課長補佐)

【会長ご挨拶】

田中 邦裕 氏(さくらインターネット株式会社 代表取締役社長)

【委員会・研究会活動説明】※活動pickupのご紹介と研究会立ち上げに関する説明含む

【各研究会からの成果報告】





タイトル レポート:第1回SAJミートアップ

開催日 2024年4月19日(金)

会場 SAJセミナールーム

参加 21社33名

概略 初の試みとして、企業交流イベントとしてミートアップを開催。第1回目となる今回は、2020年～2022年入会企業を対象とし、4社の企業にSAJの活用事例として、入会経緯や活用方法など、お話いただくほか、参加者同士で交流を行った。参加者からは、「SAJの活動内容がわかって良かった」「いろいろな方と交流できた」と好評の声をいただいた。



イベント【幹部と新入会員との懇親会】

タイトル 第15回SAJ幹部と新入会員との懇親会

開催日 2024年5月8日(水)

会場 山王健保会館＋オンライン(Zoom)

参加 27社37名

概略 2023年度下半期入会企業の皆様と総務委員会メンバーを中心とする幹部陣との第15回SAJ幹部と新入会員との懇親会が「山王健保会館」で開催された。
当日は、27社／37名の新入会員企業様にご参加いただき、幹部陣含め、総勢65名の参加となり盛況な懇親会となった。



タイトル 第18回SAJ会長杯親睦会

開催日 2024年5月18日(土)

会場 ロッテ皆吉台カントリー倶楽部

参加 55名

概略 日頃の腕前を競いつつ、ビジネスやプライベートの話などで親睦を深めていた。プレー後は、交流委員会メンバーの進行により、懇親会とあわせて表彰式が行われ、無事に終了した。



タイトル 医療機関における情報セキュリティ強化とDX推進に係る連携・協力に関する3者協定締結

開催日 2024年6月3日(月)

会場 大阪急性期・総合医療センター

概略 SoftwareISACでは、厚生労働省から「医療情報セキュリティ研修及びサイバーセキュリティインシデント発生時初動対応支援・調査事業」を受託するとともに、大阪急性期・総合医療センターにおけるランサムウェア被害後のシステムセキュリティ管理強化等支援を行ってきた。
こうした背景を受け、以下の3点を目的に協定を締結した。

- (1) 国際的なセキュリティ基準に合致したシステム環境での医療継続性の担保
- (2) 働き方改革に資する業務効率化の推進
- (3) 医療機関におけるデータ活用の推進



タイトル 第39回総会・特別講演・懇親会

開催日 2024年6月12日(水)

会場 The Okura Tokyo『平安の間』

参加 【定時総会:330名】【特別講演・懇親会:550名】

概略 【決議事項】

第1号議案 令和5年度事業報告および決算報告承認の件

第2号議案 令和6年度 7年度 理事及び監事の選任について

【報告事項】

1.令和6年度事業計画および収支予算書について

2.令和6年度SAJ功労賞等の受賞者発表

特別講演 「最強且つ最高の組織づくり」～個々の能力を活かし目標達成できるチームを作る～

講演者 講師:井上 康生 氏(柔道家)



開催日 2024年2月8日(木)

会場 山王健保会館 + オンライン(Zoom)

参加 40社・団体63名

プレゼン1 パートナーサクセス株式会社

分類 代理店販売を展開するメーカー/ベンダー様、および、パートナー企業様に向けた代理店販売の効果的なセールスサポートを実現するクラウドサービス、および代理店販売に関するノウハウの提供

製品名 Partner Success(代理店販売連携クラウド)

プレゼン2 株式会社ロックトゥーン

分類 SaaSサービス

製品名 SESマッチングプラットフォーム『PROFill(プロフィール)』



プレゼン3 株式会社未来研究所

分類 ・プレゼンテーションする製品:サイバー攻撃を受けた時、あなたのシステムの弱いところを診断してくれる、脆弱性診断ツール

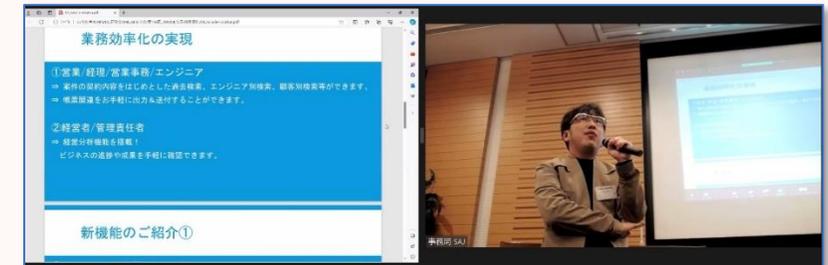
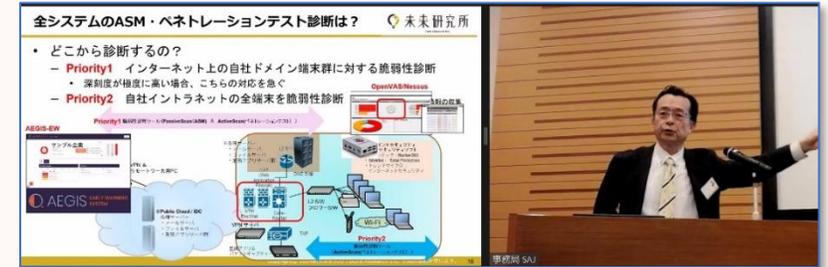
・サービスの分類:脆弱性診断ツールを使用したいエンドユーザーが発注する形態。エンドユーザーが、既存の小売店・商流(Disty/SI)を通して購入できるSaaSサービス

製品名 ASM/ペネトレーションを診断する脆弱性診断ツール・AEGIS-EW(イージズEW)

プレゼン4 株式会社ミラクルソリューション

分類 SaaSアプリケーション

製品名 派遣・SESクラウドシステム『Cloud Staff』



開催日 2024年4月23日(火)

会場 市ヶ谷健保会館+オンライン(Zoom)

参加 42社・団体61名

プレゼン1 [株式会社ROBON](#)

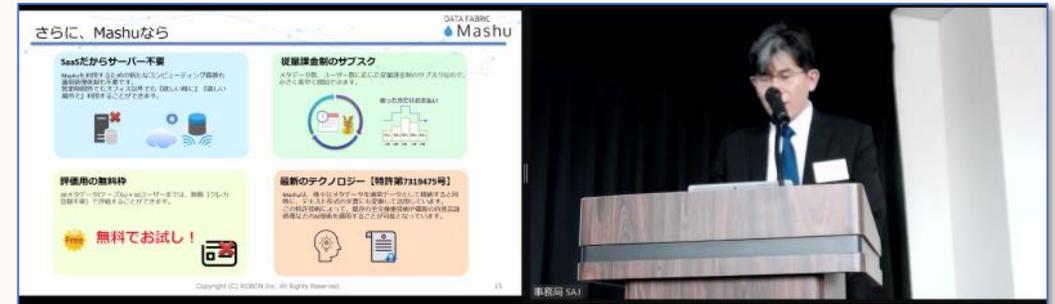
分類 メタデータ管理ツール

製品名 Mashu

プレゼン2 [ソースネクスト株式会社](#)

分類 クラウドサービス

製品名 AI同時通訳「ポケットーク ライブ通訳」



プレゼン3 クリューグル株式会社

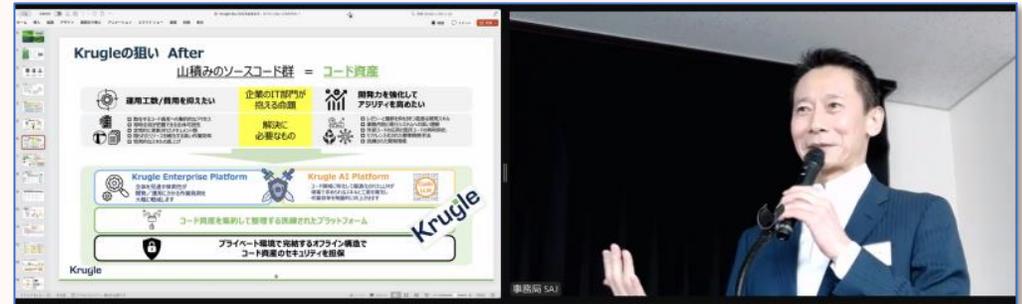
分類 ソフトウェア開発運用を支援する検索&AIプラットフォーム

製品名 Krugle(クリューグル)

プレゼン4 株式会社CASO

分類 産業用マルチ回線ルーター

製品名 Peplink マルチ回線ルーター(ペップリンク)



タイトル 2023年度 第4回会合

SAJの参加企業でワクワクする学び場をつくってみよう！

開催日 2024年3月13日(水)

会場 オンライン(Zoom)

参加 9社11名

概要 「SAJの参加企業でワクワクする学び場をつくってみよう」をテーマに、オリジナルイベントの実施を目指して、各社のコンテンツをチェックする等具体的な協議が行われた。



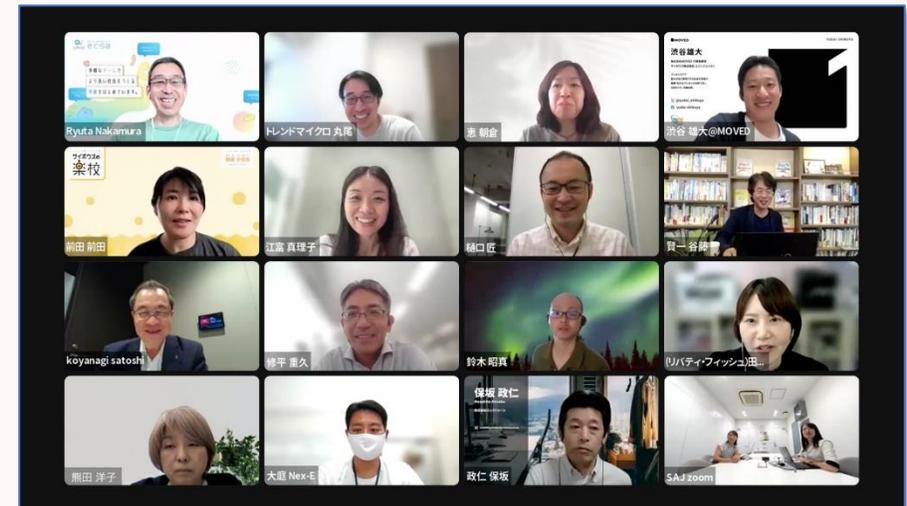
タイトル 2024年度 第1回会合
夏休み親子向けイベントの詳細を検討

開催日 2024年6月26日(水)

会場 オンライン(Zoom)

参加 15社15名

概要 夏休みに各参加企業が得意とする内容の講座を1コマずつ持ち寄って子どもたちの学びの場を創り出すリアルイベントを開催するにあたり、実施に必要な事項を検討した。



開催日 2024年1月31日(水)

会場 SAJセミナールーム+オンライン(Zoom)

参加 11社16名

テーマ1 週休3日でも過去最高益を達成したウェルビーイング経営

講演者1 川端 光義 氏(株式会社アジャイルウェア 代表取締役CEO)

講演概略1 週休3日制の枠組みと導入の動機、さらに1年間での成果についてご紹介。
また、週休3日制による具体的な数字を用いた成果と従業員アンケートの結果を提示し、
残る課題について言及した。

テーマ2 人事評価ツール「満天評価」について

講演者2 高橋 一功 氏(anbx株式会社 代表取締役社長)

講演概略2 自社開発評価ツールのご紹介。



タイトル ～ウェルビーイング経営を実現するための「ルール」・「ツール」・「プレイス」～

開催日 2024年4月18日(木)

会場 SAJセミナールーム+オンライン(Zoom)

参加 17社18名

講演者 石原 洋介 氏(株式会社PHONE APPLI 代表取締役社長)



経営力向上研究会
「ウェルビーイング経営と人事評価制度」

「働く」を変える。「生きかた」が変わる。
PHONE APPLI

企業のウェルビーイング経営・コミュニケーションの変革を支援し
人々がいきいきと働くことを実現するアプリケーション・サービスを提供します

タイトル 2023年度 第4回定例会

開催日 2024年1月23日(火)

会場 オンライン(Zoom)

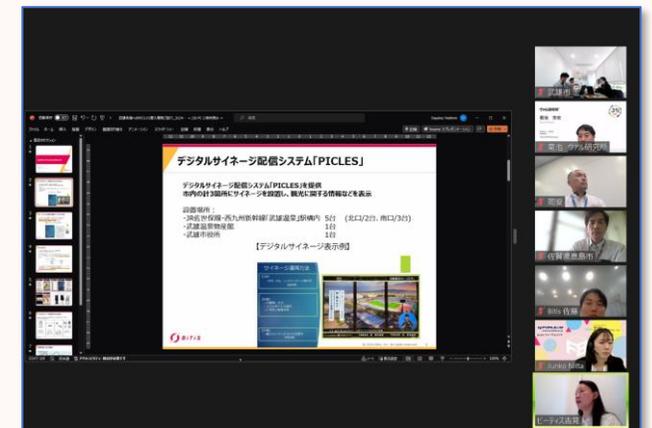
内容 活動報告／次年度活動検討、佐賀県鹿島市における視察後の取り組み、岐阜県恵那市紹介、佐賀県武雄市におけるスマートシティ化の取り組み、企業事例紹介:トレンドマイクロ

タイトル 2024年度 第1回定例会

開催日 2024年4月23日(火)

会場 オンライン(Zoom)

内容 活動報告／今後の予定、佐賀県武雄市における令和5年度実績と令和6年度計画、人流データ基盤コンソーシアムについて、企業事例紹介:オプティム



タイトル 「AI規制の将来像 - イノベーション創発と規制のバランスを探って」

開催日 2024年4月2日(火)

会場 SAJセミナールーム+オンライン(Zoom)

参加 38社44名

講演者 平 将明 氏(衆議院議員 自由民主党 デジタル社会推進本部 AIの進化と実装に関するプロジェクトチーム 座長)





タイトル 「働き方」に関する最新動向～裁判例から見る労務トラブル対策～

開催日 2024年6月17日(月)

会場 SAJセミナールーム+オンライン(Zoom)

参加 40社46名



発注者としての行動③ (労務費ガイドラインP7)

- 労務費上昇の理由の説明や根拠資料の提出を受注者に求める場合は、**公表資料**（最低賃金の上昇率、春季労使交渉の妥結額やその上昇率など）に基づくものとし、受注者が公表資料を用いて提示して希望する価格については、これを合理的な根拠があるものとして尊重すること。

1-2 「労働時間を算定し難いとき」の非該当例

次の例では、「労働時間を算定し難いとき」には該当しない（事業場外みなし労働時間制は利用できない）とされている。

- グループで事業場外労働に従事し労働時間管理者が同行している場合*1
- 携帯電話やスマートフォン等で随時使用者の指示を受けながら労働している場合*1
- 訪問先・社外特等との具体的指示を受けて指示通りに業務に従事し報社する場合*1
- テレワークのうち、次の3要件を満たさないもの
① 私生活を営む自宅で行われ、②パソコン、スマートフォン等が使用者の指示により常時通信可能な状態に置くこととされており、③業務が随時使用者の具体的な指示に基づいて行われるものではないもの*2

*1 昭和63年1月1日届発第1号・修発第1号
*2 平成26年3月31日届発0305001号、平成29年7月26日届発0728002号

タイトル 【Online開催】チームを勝利に導く！
リーダーのテクニカル×ノンテクニカルスキル習得コース

開催日 6月14日(金)・21日(金)

会場 オンライン(Zoom)

参加 13社19名

講演者 志村 智子 氏(株式会社インフォテック・サーブ)



タイトル 学生向けイベント企画について、初めてのリアル開催で熱く検討！

開催日 2024年3月27日(水)

会場 SAJセミナールーム+オンライン(Zoom)

参加 現地9名 / オンライン6名

内容 これまで「21 世紀型スキルを身につけるPBL」を核としたインターンシップ (名称:プロジェクトZ)を企画・検討するなど、毎月1回、オンラインで討議を重ねてきたが、2024年に開催する学生向け企画を検討するため、初めてハイブリッド開催。
当日は、メンバー以外に当研究会に興味のある会員を募り、多数の意見交換が行われた。
初めてのリアル顔合わせとなったことから、終了後には懇親会も開催された。





タイトル 週休3日制を導入してわかったこと～

開催日 2024年6月6日(水)

会場 SAJセミナールーム+オンライン(Zoom)

参加 12社14名

講演者 岡田 秀介氏(株式会社アジャイルウェア 人事/Chief Well-being Officer)



タイトル 米国CES2024リモート視察

開催日 2024年1月11日(木)

会場 SAJセミナールーム

参加 10社12名

概略 SAJ会員である株式会社toraruが提供するクラウドソーシング型現地体験共有サービス「GENCHI」を用い、毎年1月に米国ラスベガスで開催される電子機器の大型見本市である「CES」のリモート視察を実施した。





タイトル Microsoft における生成 AI～その活用の最前線と可能性

開催日 2024年2月29日(木)

会場 SAJセミナールーム+オンライン(Zoom)

参加 72社154名

講演者 伊藤 信博 氏
(日本マイクロソフト株式会社 業務執行役員 パートナー事業本部 パートナー技術統括本部 統括本部長)
松崎 剛 氏
(日本マイクロソフト株式会社 パートナー事業本部 パートナー技術統括本部 パートナーソリューションアーキテクト)





タイトル AIと企業の向き合い方～成功・失敗事例からみる～

開催日 2024年5月29日(水)

会場 SAJセミナールーム+オンライン(Zoom)

参加 46社75名

講演者 木村 晋也 氏(合同会社ライオット 代表)



「GPT-4o」は競合モデルと比較し、
圧倒的な性能を実現

Eval Sets	GPT-4o	GPT-4T 2024-04-09	Gemini 1.0 Ultra	Gemini 1.5 Pro	Claude 3 Opus
大学レベルの数学の理解(MATH)	88.7	86.5	85.7	81.9	86.8
数式の理解(MATH)	76.7	72.6	53.2	58.5	60.1
高度な推論能力(MATH)	53.6	48.0			50.4
プログラム合成の能力(HumanEval)	90.2	72.6	74.4	71.9	84.9
数学的推論能力(MATH)	90.5	88.5	79.0	88.7	90.7
情報抽出タスクにおいて、生成されたテキストが正確か厳密的かを評価し得る(MATH)	83.4	86.0	82.4	78.9	83.1



© 2024 SAJ. AIの性能を比較する目的で、比較対象のモデルを生成しているが、これも必ずしも実際のOpusのものではない。
※試行が長引くとテキスト生成はGeminiの優先度が高くなる。



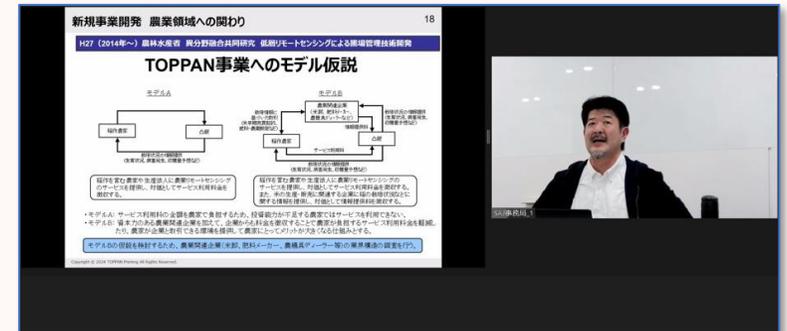
タイトル 印刷会社からの革新「TOPPAN」における農業&流通ICT活用例

開催日 2024年 2月21日(水)

会場 オンライン(Zoom)

参加 26社37名

講演者 永野 武史氏
(TOPPAN株式会社 情報コミュニケーション事業本部
ソーシャルイノベーションセンター 担当課長)





タイトル 【大阪開催】パーソナルデータ利活用が創る未来社会

開催日 2024年4月25日(水)

会場 株式会社ファイン(大阪市西区江戸堀1-5-16 JMFビル肥後橋01 11F)+オンライン

参加 26社36名(現地参加:21社29名、オンライン5社7名)

講演者 八木 康史 氏(大阪大学 産業科学研究所 教授)



タイトル 『オープンイノベーションコンテスト』開催説明会

開催日 2024年5月27日(月)

会場 SAJセミナールーム+オンライン(Zoom)

参加 10社18名(現地参加:5社6名、オンライン5社12名)

講演者 斎藤 大治 氏(リアルネットワークス株式会社)
岩永 充生 氏(株式会社NTTドコモ)
須佐 太 氏(河村電器産業株式会社)



集え！！未来を創るイノベーション！
『オープンイノベーションコンテスト』開催中

タイトル 経済産業省認定の生成AI向けクラウドサービスと石狩データセンター

開催日 2024年1月12日(金)

会場 オンライン(Zoom)

参加 24社31名

講演者 松田 貴志 氏
(さくらインターネット株式会社)



講演者



タイトル AIの進化で働き方はどう変わるのか？
～AIによって半分の仕事が消えると言われてから10年の今～

開催日 2024年2月7日(水)

会場 オンライン(Zoom)

参加 19社42名

講演者 赤井 誠 氏(MKTインターナショナル株式会社)

講演者

参加





タイトル 「SBOM(Software Bill of Materials)って何？(第3弾)

～社内導入事例+フォーマット(SPDX)の活用ついて～

開催日 2024年2月20日(金)

会場 オンライン(Zoom)

参加 21社31名

テーマ1 様々なサイバーセキュリティ規制とSBOM対応

講演者1 鈴木 康弘 氏(株式会社アシュアード yamoryプロダクトオーナー
Software ISAC・OSS委員会副委員長)

テーマ2 経験共有:SBOMの作成と管理～トレンドマイクロの場合

講演者2 本田 祥子 氏(トレンドマイクロ株式会社 製品開発本部本部長代理 ディレクター)

テーマ3 SPDXフォーマットについて～SPDXをどうやって使うのか～

講演者3 富田 佑実 氏(サイバートラスト株式会社 OSS/IoT事業統括
OSS事業推進本部 OSSテクニカルアライアンス部)



タイトル Software ISAC 情報共有会

開催日 2024年3月13日(水)

会場 SAJセミナールーム+オンライン(Zoom)

参加 27社32名

テーマ1 IPAセキュリティセンターのご紹介

講演者1 中野 夏美 氏
(独立行政法人情報処理推進機構 理事長 参与・セキュリティセンター副センター長)

テーマ2 Software ISAC 活動報告

講演者2 板東 直樹 氏(SAJ理事/Software ISAC共同代表)
萩原 健太 氏(SAJ理事/Software ISAC共同代表)

テーマ3 一般社団法人交通ISACのご紹介

講演者3 小田 意大 氏(一般社団法人交通ISAC 運営委員長)





タイトル ISACセキュリティ勉強会

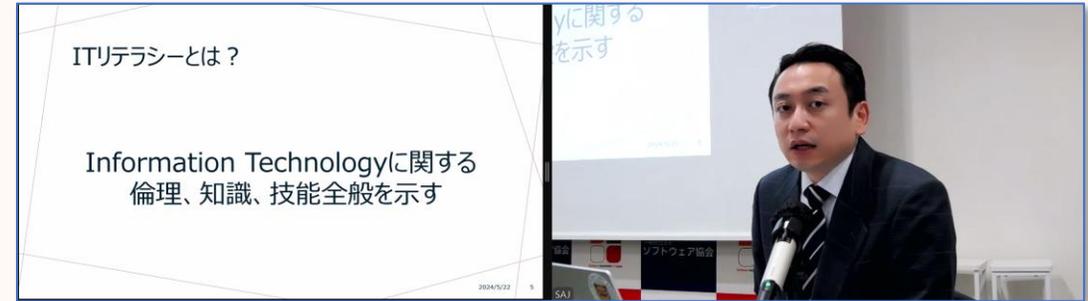
開催日 2024年5月22日(水)

会場 オンライン(Zoom)

参加 30社58名

テーマ ITリテラシーって何？～最低限知っておきたいデジタルスキルの基礎～

講演者 萩原 健太 氏(SAJ理事／Software ISAC共同代表)



2024年1月9日(火)

U-22プログラミング・コンテスト2024開催決定！各種スポンサー募集開始！！

U-22プログラミング・コンテスト実行委員会は、次世代のIT人材を応援する「U-22プログラミング・コンテスト2024」の開催を決定するとともに、同コンテストの主旨に賛同するスポンサー募集を開始しました(一次募集締切:2024年1月末)。

2024年4月5日(月)

U-22プログラミング・コンテスト2024 応募要項を公開 民間移行11年目を迎え、実行委員長も新たに！

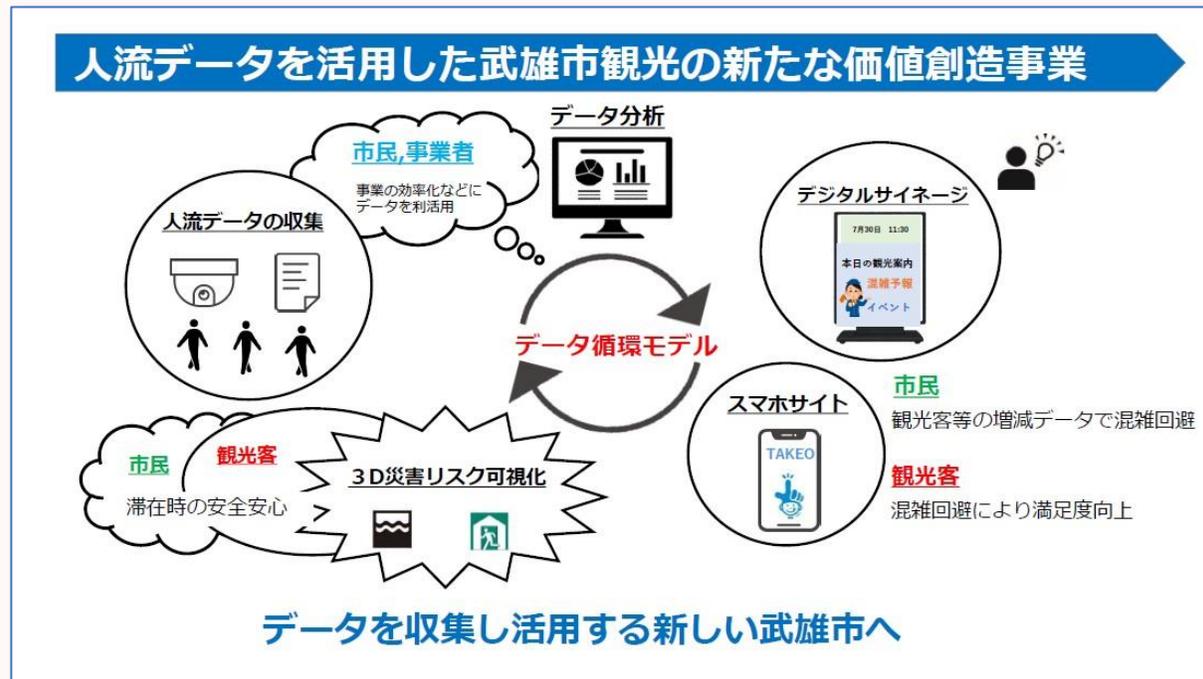
U-22プログラミング・コンテスト実行委員会は、通算45回目の開催となるU-22プログラミング・コンテスト2024公式Webサイトにて応募要領を公開しました。

2014年の民間移行後、これまで青野 慶久(サイボウズ株式会社 代表取締役社長)が実行委員長として、コンテストを牽引してまいりましたが、11年目を迎える2024年からは、次世代に引き継ぐべく、新たな実行委員長として江草 陽太(さくらインターネット株式会社 技術推進統括担当 執行役員 兼 CIO 兼 CISO)が就任し、U-22により近い世代として、コンテストのさらなる発展を目指します。

2024年3月4日(月)

スマートシティ研究会 包括連携協定を締結している佐賀県武雄市において独自の人流データプラットフォームをリリース

一般社団法人ソフトウェア協会(以下、SAJ)スマートシティ研究会では、包括連携協定を締結している佐賀県武雄市(市長:小松 政)において、独自の人流データプラットフォームを開発、このたび当該サービスをリリースいたしました。



一般社団法人ソフトウェア協会では、厚生労働省が公募した「受講者の特性に対応した教育訓練手法の構築・普及促進事業」において、「非正規就労の方を中心としたデジタル人材(システムエンジニア)育成事業」で受託し、令和5年度から令和6年度末までの事業として実施しています。

昨今のコロナ禍や、物価高をはじめとする厳しい経済状況の中で、就業先が大きな影響を受け、やむなく離転職を繰り返さざるを得ない環境の方も多く見受けられます。

そこで、各業界で非正規職等の不安定な就業環境を強いられてきた比較的若年層の中で、IT業界への転職を希望する方を対象に、IT及びネットワークの基礎的なスキルを習得し、システムエンジニアとして正社員へ就職していただくことを目指す訓練プログラムを実施する運びとなりました。

【対象】 原則、非正規労働者(正社員転換又は正社員就職を目指す44歳以下の方)

【訓練期間】 約3か月

- ・e-Learning (各自が自分のスケジュールで受講): 62時間相当/対面研修: 144時間
- ・平日週2日(木曜日、金曜日) 19時~21時(2時間訓練) 月8回×3か月=24回 48時間
- ・毎週土曜日 9時~18時(8時間訓練、1時間休憩) 月4回×3か月=12回 96時間

【開催会場】 東京・大阪

【取得資格】 CCNA(Cisco Certified Network Associate)※

【就職に向けた施策】 有給インターンシップ(1か月以内)の紹介(希望者のみ)/就職説明会の開催/

履歴書・職歴書の添削、模擬面接といった個別の就職支援/キャリアコンサルタントによる支援



プログラムの詳細は
ホームページで
ご確認ください。

●第1回試行

・訓練期間:令和6年2月3日(土)～4月27日(土)(約3か月)

※集合研修とe-learningを併用

集合研修会場 東京:ウチダ人材開発センタ様研修室

大阪:センターフィールド様会議室

受講者:27名(東京:19名、大阪:8名)

修了者:20名(東京:13名、大阪:7名)

・就職支援期間:令和6年5月～7月(約3ヶ月)

<第1回試行合同就職面接会の開催>

日時:令和6年5月24日(金)終日 会場:オンライン

参加修了生:16名(東京:11名、大阪5名)

参加企業数:14社、面接枠:94枠

●第2回試行

訓練期間:令和6年7月6日(土)～9月28日(土)(約3か月)

就職支援期間:令和6年10月～12月(約3ヶ月)

<東京会場>



<大阪会場>



<開講式 令和6年2月3日(土)>



<実習風景>



<修了式 令和6年2月3日(土)>

令和5年度医療情報セキュリティ研修および

サイバーセキュリティインシデント発生時初動対応支援・調査等事業

事業期間 2023年5月1日～2024年3月31日

目的 令和4年度に引続き、医療機関のサイバーセキュリティ対策の徹底を図るべく、ポータルサイト運営とそれを活用した医療従事者経営層等へのセキュリティ対策研修の告知・関連資料の配信等、e-learning等研修の実施およびサイバーセキュリティインシデントが発生した際の初動対応支援を実施。



～延べ9,600医療機関・団体/12,000名受講～

実施内容 (1)サイバーセキュリティ対策にかかる医療機関向け研修の実施
4階層に別けオンライン研修、現地視察、e-learninig等の実施。

研修階層		実施形態	開催回数	参加者合計数
経営者向け研修		オンライン研修	8回	982病院 1,099名
		現地視察	1回	31病院 38名
システム・セキュリティ管理者向け		オンライン研修	7回	3,747病院 4,219名
		現地視察	1回	49病院 49名
		演習	2回	41病院 43名
初学者等向け		オンライン研修	8回	1,712病院 1,989名
導入研修	立入検査対策コース	オンライン研修	2回	1,472機関 1,698名
		アーカイブ	2回	1,173機関 1,294名
	大阪急性期・総合医療センター 事例コース	オンライン研修	3回	438病院 464名
E-learning		オンライン	-	983名
イベント 第43回医療情報学連合大会協賛セミナー		現地参加・オンライン参加	1回	151名

(2) 継続的な教育支援とアンケートを用いた調査

サイバーセキュリティ教育の活用できるコンテンツ収集、脆弱性情報等のサイバーセキュリティ対策に資する情報の収集、ポータルサイト運用等、ポータルサイトの積極的な周知・広報を実施

(3) サイバーセキュリティインシデントが発生した医療機関の初動対応支援、相談・助言対応

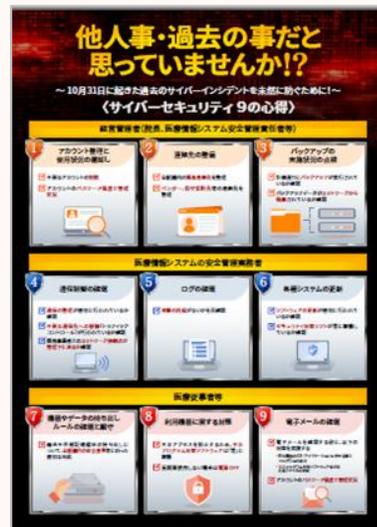
現地出動1件、出動準備1件、オンラインでのインシデント対応支援1件の計3件の対応を行った

(4) 医療機関等向けサイバーセキュリティ対策の啓発活動

啓発コンテンツの制作、啓発コンテンツの頒布・広報活動、啓発イベントの開催・運営・集客活動を実施



研修チラシ



注意喚起チラシ



啓発コンテンツ-座談会記事



U-22プログラミング・コンテスト2024/第3回U-22キービジュアルコンテスト 7月1日から応募受付開始！応募締切は8月30日！

U-22プログラミング・コンテスト2024および第3回U-22キービジュアルコンテストは、7月1日から応募受付を開始しました(締切:8月30日)。本コンテストは、22歳以下を対象とした次世代の若手プログラマー・クリエイターを対象としたコンテストで、次世代のIT人材の発掘・育成を目的とし、45回目の開催を迎えます。



参加資格:22歳以下
応募期間:7月1日～8月30日

▼U-22プログラミング・コンテスト2024
各賞・副賞:経済産業大臣賞 50万円×4本 他

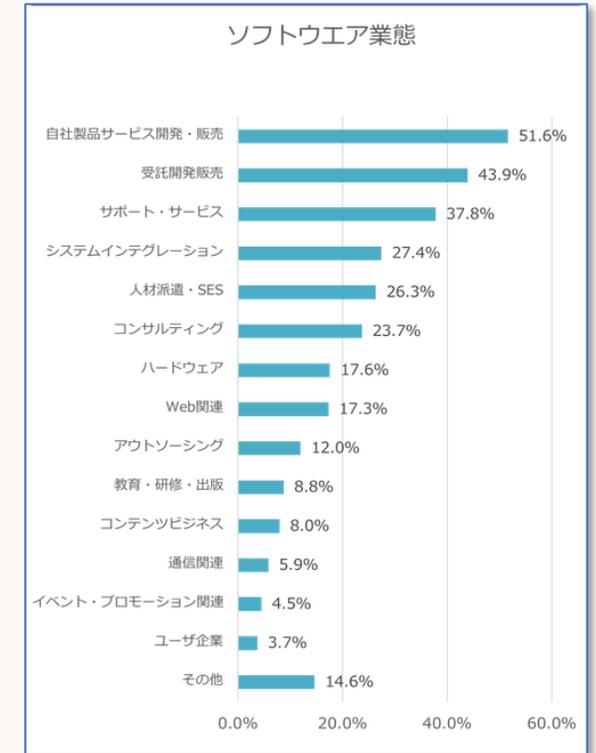
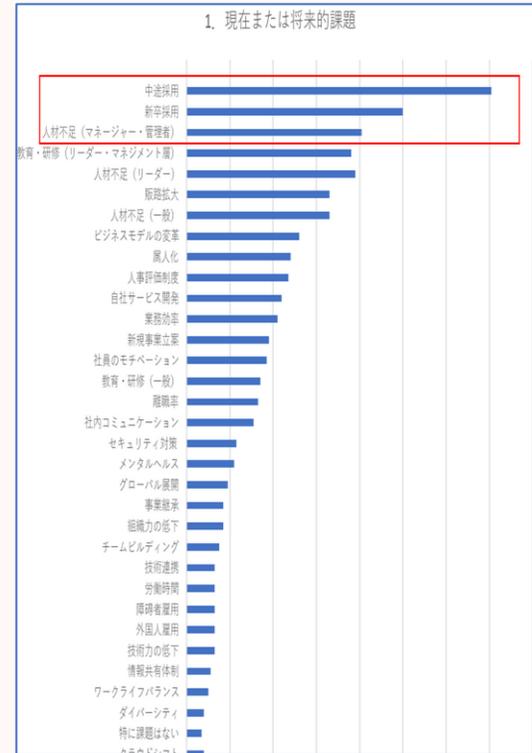
▼第3回U-22キービジュアルコンテスト
各賞・副賞:優秀賞 1万円×3本

令和5年度会員ニーズ調査

毎年10月～11月にかけて、会員の皆様にご協力をお願いしております「会員ニーズ調査」の結果を公開しました。本調査は、次年度の経済活性化、および、会員企業各社様により一層協会活動にご参画いただけるよう、SAJの活動計画策定に向けた参考とさせていただきます。(回答:315社)

令和6年度会員景気動向・業種業態・協会満足度調査

毎年1月～2月にかけて、会員の皆様にご協力をお願いしております「景気動向・業種業態・協会満足度」の結果を公開しました。本調査は、会員企業の景気動向・業種業態と、協会活動が皆様のニーズに役立っているかを把握するとともに、経済活性化、および、会員企業各社様により一層協会活動にご参画いただけるよう、SAJの活動計画策定に向けた参考とさせていただきます。(回答:375社)



SAJに入会し、積極的に活動に参加することで、会社や人のつながりが生まれ、ビジネスにつながるケースも多々あります。ここでは、SAJを活用している会員企業へのインタビューを通じて、協会の活用方法をご紹介します。



●創研情報株式会社

SAJで行われたiCDワークショップをきっかけに社内にiCDを導入、その後ゴールド認証を取得し、毎年ご自身だけでなく、研修・イベントなどに社員の方々も積極的にご参加いただいている創研情報株式会社の阪本社長にお話を伺いました。



●株式会社リボルブ・シス

入会以降、セミナー等では、社員の方に多数受講いただくほか、経営者層の皆様には、各種交流会にも多くご参加いただいている株式会社リボルブ・シスの坂田取締役にお話を伺いました。



●株式会社ユーザックシステム

入会以降、セミナーや交流会にご参加いただくユーザックシステム株式会社の小ノ島社長にお話を伺いました。

SAJに入会し、積極的に活動に参加することで、会社や人のつながりが生まれ、ビジネスにつながるケースも多々あります。ここでは、SAJを活用している会員企業へのインタビューを通じて、協会の活用方法をご紹介します。



●センターフィールド株式会社

入会以降、セミナー交流会への参加はもちろんのこと、女性理事としてもご活躍いただいている、センターフィールド株式会社の富田社長と原島取締役本部長にお話を伺いました。



●株式会社ヴァル研究所

2021年にスマートシティ研究会を新設し、翌年、佐賀県武雄市と包括協定を締結したのち、研究会メンバーでコンソーシアムを作り、同市で2024年3月に人流データプラットフォームをリリースしたスマートシティ研究会の主査を務める株式会社ヴァル研究所 菊池宗史社長にお話を伺いました。



Software Everywhere

すべてはソフトウェアで動く、これからのデジタル社会へ

SAJ活動Pickup
2024年1月～6月
2024年9月13日発行